

ドラッグインフォメーション

2023年4月改訂

販売名	氷酢酸	発売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 氷酢酸	製造販売	東豊薬品株式会社	
洋名	Glacial Acetic Acid	発売年月	2000年4月	
一般名	氷酢酸	薬価収載年月	1955年9月	
剤形	皮膚軟化剤	薬価	10g 10.20	健保適用
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	872661	
厚生労働省薬価基準 収載医薬品コード	2661702X1408	YJコード	2661702X1408	
構造式	構造式： CH_3COOH 分子式： $\text{C}_2\text{H}_4\text{O}_2$ 分子量：60.05			
性状	本剤は無色澄明の揮発性の液又は無色若しくは白色の結晶塊で、刺激性の特異なにおいがある。 水、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。 比重 d_{20} ：約1.049			
組成	本剤は酢酸 ($\text{C}_2\text{H}_4\text{O}_2$) 99.0%以上を含む。			
効能 効果	洗淨液、収れん液の調剤に用いる。 また、緩衝・矯味の目的で調剤に用いる。	用法 用量	洗淨液、収れん液の調剤に用いる。又、緩衝・矯味の調剤に 目的で用いる。	
使用上の注意	1) 本品の蒸気は引火しやすいので注意すること(引火点約44°)。 2) 本品の蒸気は呼吸器を刺激し、皮膚に触れると激しい炎症を起こす。 3) 皮膚、粘膜を刺激し、これを腐蝕、発泡、発赤させる作用がある。 4) 誤って摂取した場合、口、咽喉、腹部に激痛を与え粘膜に潰瘍を生じ、嘔吐、吐血、下痢を起こし、呼吸及び体温の異常、虚脱などの症状と共に、タンパク尿、尿毒症を併発する。 激痛にはモルヒネ注射を行い、牛乳、卵白、水酸化マグネシウム又はカルシウムを与える。炭酸塩重炭酸塩の投与は避け、胃洗淨は行ってはならない。 5) 皮膚についたら十分に水洗し、程度が大きいときは医師に相談すること。			
備考	第二石油類、水溶性、火気厳禁、 危険等級Ⅲ 貯法：気密容器 包装単位：500mL、20kg	文献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10	